

研究課題名	実臨床における胸部 CT の人工知能を用いた肺結節自動検出画像診断支援システムの性能評価に関する研究
研究責任者名	医系科学研究科放射線診断学 准教授 中村 優子
研究期間	実施許可日 ～ 2028 年 12 月 31 日
対象者	2015 年 1 月 1 日～2021 年 12 月 31 日の間に三次中央病院で施行された肺がん検診の胸部 CT のうち、肺癌と診断された患者さん 2023 年 7 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の間に広島大学病院で肺癌術前精査目的に超高精細 CT が撮影された患者さん
意義・目的	近年、胸部 CT における人工知能を用いた肺結節自動検出画像診断支援システムの開発と研究が進んでいます。広島大学病院でもそのひとつである富士フィルムメディカル株式会社の肺結節検出プログラムが導入されましたが、実臨床における有用性については十分な検証が行われていないのが現状です。 本研究では、実臨床の胸部 CT における人工知能を用いた肺結節自動検出画像診断支援システムの性能評価を行うことを目的としました。
方法	本研究は肺がん検診もしくは超高精細 CT で撮影された胸部 CT を対象として、人工知能を用いた肺結節自動検出画像診断支援システムによる肺がんの検出率や感度、特異度を調べます。また、放射線量や画像再構成法による違いについても検討する予定です。研究に使用する情報は年齢、性別、身長、体重、喫煙歴、病理所見、CT 画像です。本院および三次中央病院の患者さんの情報を使用して広島大学で解析をします。
既存試料・情報の提供機関	三次中央病院 栗屋 禎一
利用を開始する予定日	本院の実施許可日（2024 年 2 月 20 日）以降
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。具体的には、情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。個人と連結させるための対応表は、本院および三次中央病院の各担当者が保管・管理し、他機関へは提供しません。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ・苦情等の窓口	研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報や、試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお、公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5257

広島大学病院放射線診断科 診療講師 福本 航